## 平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学校名	安八町立牧小学校
実施期間	平成25年11月22日(金) ~12月5日(木)
実施概要	<ul> <li>① 農園活動(11/22) ② 調べ学習作品展(11/25~11/30)</li> <li>③ ひびきあいの日「人権講演会、学級での親子対話会」(11/30)</li> <li>学校評議員・人権擁護委員・民生児童委員の参観及び学校評議員会の開催</li> <li>④ 持久走大会(12/5) ⑤ 地域の神社の清掃活動(12/5)</li> </ul>
実施内容	学習・取組の分野 ☑自然 □歴史 ☑文化 □産業 ☑その他
	公開の方法 □授業公開 □成果発表 ☑交流活動 ☑講演会等 ☑地域行事等参加 ☑その他
来校者数	保護者 83人 ₹1.001
	地域関係者     15人
実施状況	① 「農園活動」 4・5年が、学校農園でイチゴとタマネギの苗植えを行った。全校の農園活動では、常に牧地区の老 人会有志の方々に教えていただきながら一緒に活動を行っている。 ② 「調べ学習作品展」 児童一人一人の2学期の学習の記録を廊下に展示し、公開した。
	<ul> <li>③「ひびきあいの日(人権講演会 講師:岐阜県モラロジー協議会 小塚由紀則氏)」 ア 演題『大切な三つの心』の講演を児童と保護者が一緒に聞いた。 イ 学級での親子対話会では、講演で話された「思いやりの心・自立する心・感謝する心」について 感想を交流し合い、人権についての認識を学年に応じて深めた。 ウ 学校評議員・人権縮護委員・民生児童委員の方に、11月30日の「ひびきあいの日」の活動をすべて参観していただき、参観後アンケートに書いていただいた。また、学校評議委員会も開催し、その中で講演内容や親子対話会について御感想や御意見をいただいた。</li> <li>④「持久走大会」 12月5日の大会に保護者が参観する。</li> </ul>
	⑤「地域の神社の清掃活動」
	12月5日に地域の伊富神社のボランティア清掃を6年生が地域の方と共に行う。
成果及び課題	○ 教育週間に調べ学習作品展や特久走大会を位置付け、大勢の保護者の方の参加を得ることができ、子 どもたちの日頃からの頑張りを見ていただくことができた。
	○ 教育週間に地域の方々と一緒にふれあいながら取り組む農園活動やボランティア清掃活動を意図的に位置付けたことにより、より一層、地域の方と親しくなることができた。また、子どもたちは、牧地区の方々の農業に対する思いや、地域を大切にする心を再認識することができた。
	○ 人権週間前に「ひびきあいの日」を設定し、人権に関わる講演会から学んだことや考えたこと等を作 文にまとめ、人権に関する思いを児童も保護者も深めることができた。
	両腕を無くされた小塚さんによる講演会は、御自分の体験を子どもに分かりやすく話され、考えてほしい三つの心が強く伝わった。大人の社会でも欠けている「命の大切さ・三つの心」を日常生活の中で、前向きに努力していくことが大切であること、「ありがとう」という言葉の大切さや笑顔で過ごすこと等、心に響くよい講演であった。低学年には、難しい内容だったかもしれないが、集中して姿勢よく話を聞くことができていた。
	親子対話会では、学年の発達の段階に応じた話し合いがなされていた。親の意見が聞けることは子どもたちも嬉しそうでよい企画である。特に、4年生以上では、保護者の意見もじっくり聞けて「思いやりや感謝」についての話し合いが深まっていた。
	▲ 地域の行事と「ひびきあいの日」が重なってしまい、父親や祖父母の参加が少なかったので、来年度 は誰もが参加できるように日程を調整していく。
	▲ 今後も小規模校のよさを生かし、地域のよさを取り入れた指導を続けていく。親子対話会を今後も続けるのであれば、高学年のように保護者の座席の位置を工夫し、話し易い場の設定をしていきたい。